

2019年 8月 29日

## 臨床データ利用のお願い

海南病院では、以下の研究を実施しています。本研究の対象者に該当する可能性のある方で、カルテ情報を研究目的に利用されることをご希望されない場合などお問い合わせがありましたら、お手数ですが以下の問い合わせ先にご連絡ください。

### 1. 研究課題名

ドセタキセル抵抗性前立腺癌に対する UFT-CDDP 併用療法

### 2. 研究責任者

海南病院泌尿器科 窪田 裕樹

### 3. 研究の対象

2013年1月から当院にて去勢抵抗性前立腺癌に対してドセタキセル治療を行い、さらに抵抗性となった後に UFT-CDDP 併用療法を行った症例を対象とします。

### 4. 研究目的

前立腺癌において一次治療に抵抗性となった去勢抵抗性前立腺癌に対する逐次治療は確立されていない。特にドセタキセル抵抗性となった後の治療は困難であるが、UFT-CDDP 併用療法の有用性が示されている。病期診断、画像検査所見、薬剤投与後の腫瘍マーカーの推移、投与後の画像診断、有害事象などを後方視的に評価し、生存期間の延長や QOL の改善につながる因子について検討する。

### 5. 研究に用いる試料・情報の種類

腫瘍組織型、血液画像検査結果、有害事象、治療歴 治療内容、等。

### 6. 個人情報の取扱い

貴重な患者さんの個人情報は、「個人情報保護法」及び「人を対象とする医学系研究に関する倫理指針」など各種法令に基づいて管理します。また、研究成果は学会や学術雑誌で発表されますが、その際も患者さんを特定できる個人情報は利用しません。

### 7. 問い合わせ先・相談窓口

JA 愛知厚生連 海南病院 泌尿器科 窪田 裕樹  
電話：0567-65-2511（代表）